

14番 児玉 美環子 議員

1 男女共同参画社会実現に向けた施策について

- (1) 第2次鹿屋市男女共同参画基本計画の施策の方向「生活上の困難を抱えやすい人々が安心して暮らせる環境の整備」において、多様な性の在り方についての理解促進と相談支援を挙げているが、どのように推進されているか具体的に示されたい。
- (2) パートナーシップ宣誓制度導入は、LGBTQの方々にとって安心して暮らせる環境整備の最たるものとする。同制度導入に向け、意欲ある検討がなされるべきと考えるが、どうか。
- (3) 以前、福岡市の取組を紹介し鹿屋市立中学校の制服の統一化を提案した。保護者の経済的負担の軽減と、全ての生徒の性の在り方や表現を尊重する上でも重要であるとする。その後の検討はなされたか。

2 人と動物の共生する地域社会の実現について

- (1) 本市の犬・猫の保護及び引取り頭数の現状を示されたい。
- (2) 猫に起因する生活環境の問題で苦慮している市民がおられる一方、飼い主のいない猫の世話をしながら自費で不妊去勢手術を受けさせている市民がおられる。行政として、猫の愛護及び管理に関する条例を制定すべきではないか。
- (3) 飼い主のいない猫の不妊去勢手術には公益財団法人どうぶつ基金の利用が可能である。市民と共同で地域猫活動を推進し、猫に起因する問題の軽減、解消に取り組む考えはないか。